

授業科目名	<b>研究方法 B-I</b> <b>(質的研究方法の基礎)</b> <i>Research Methods B-I</i>			担当教員	小林 裕美
開講年次	1年後期	セメスター	2	時間数(単位数)	15 (1)
必修選択	選択	授業形態	講義	使用教室	
授業の目的	質的研究手法を用いるための基礎知識として、質的データの収集方法および分析方法、さらに分析結果の解釈等について、文献や模擬データによる演習によって学ぶ。				
到達目標	1. データ収集方法について、インタビューやフィールドワークなどを演習により体験し、質的データの意味について理解することができる。 2. データの分析方法について、演習によりコード化などを体験し、データをまとめていく分析の意味について理解することができる。 3. 質的研究におけるデータ分析と分析後の解釈のつながりを検討することができる。				
授業計画	1回 質的研究の特徴 研究方法(研究方法総論)で学習した質的研究の特徴について 2回 質的データとは(1) インタビュー演習 3回 質的データとは(2) フィールドワーク演習 4回 質的データの意味とは(3) 文献研究、歴史的研究等も含めて 5回 データの分析方法(1) 模擬データによる演習 コード化等のデータとの向き合い方 6回 データの分析方法(2) 模擬データによる演習 データをまとめていく過程：現象学的アプローチ、グラウンデッド・セオリーアプローチ、質的統合法(KJ法)等の手法の違いの意味 7回 質的研究におけるデータ分析後の解釈とは 8回 研究目的と質的研究手法の関係				
学習方法	研究方法(研究方法総論)で学んだ質的研究法の基礎知識を元に、質的研究に共通しているデータの収集方法および分析方法、さらに分析結果の解釈等について、主に模擬データによる演習により体験しながら学ぶ。各回に提示する演習課題に取り組んでください。				
オフィスアワー	金曜日の昼休み、もしくはメール(h-kobayashi@jrckicn.ac.jp)にてアポイントをとってください。				
テキスト	グレッグ美鈴, 麻原きよみ, 横山美江: よくわかる質的研究の進め方・まとめ方 看護研究のエキスパートをめざして 第2版. 医歯薬出版, 2016.				
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Immy Holloway, Stephanie Wheeler : <i>Qualitative Research in Nursing</i>(2nd). 2002, 野口美和子監訳: ナースのための質的研究入門. 東京, 医学書院, 2010.</li> <li>・ Margarete Sandelowski: <i>10 Key Questions Over Qualitative Research</i>. 2013, 谷津裕子・江藤裕之訳: 質的研究をめぐる10のキークエスション. 東京, 医学書院, 2013.</li> <li>・ 佐藤郁哉: 質的データ分析法 原理・方法・実践. 東京, 新曜社, 2008.</li> <li>・ 松葉祥一・西村ユミ編集: 現象学的看護研究—理論と分析の実際. 東京, 医学書院, 2014.</li> <li>・ 川喜田二郎: 発想法. 東京, 中公新書, 1996.</li> <li>・ 山浦晴男: 質的統合法入門 考え方と手順. 東京, 医学書院, 2012.</li> </ul>				
評価方法	演習課題 (50%) レポート (50%)				